元日の徳泉寺と能登半島と

修正会（しゅしょうえ）勤修

令和六年一月一日、徳泉寺本堂では午前十時半から元日法要・修生会が勤修されました。昨年まではコロナ禍で法要のみの開催でしたが、今年は法要の後の茶話会を復活させ、甘酒などのお振舞いをして、みなさんと和やかに賑やかに新年をお迎えすることができました。スリランカから留学して来ている仏教徒の学生さんもお一人ご参加されて、図らずも仏教をご縁に国際交流の場ともなって、温かい気持ちでいっぱいでした。

そんな始まりの日の夕刻。能登半島沖で大きな地震が発生しました。親族が集まり、それぞれのお宅でそれぞれの新年をお迎えしていたところでしょう。緩んでほころんだ気持ちが一変し、寒い夜は何とも心細かったことと思います。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

どんなことでも起こるのが人生だと、何度も何度も思い知らされますが、それでも穏やかにと願わずにはいられません。

今年も皆様の傍に寄り添えるお寺でありたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

能登「復興」支援に行ってきました

一月十五～十八日に能登半島で真宗大谷派の仲間たちと支援活動。東日本大震災の時に助けてくれた能登の皆さんに何かしたい。主に救援品のおとどけと炊き出しによる食事提供です。まだ通れない道も多く、倒れた家や折れた電柱の間をゆっくりと進みます。

横倒しになったビルや、火災が起きて焼けた朝市の周辺も含めて、大変な被害状況の中、小学校や公民館の避難所へ暖かいご飯やお汁などをおとどけしました。お話していると張りつめていたものがとけて「つらかった」と泣き出す方も。

子どもたちが学習できる環境へ二ヵ月間集団避難する動きもあり、地元に残る選択をした家庭も親元を離れることを選んだ家も、どちらも心配だし「もとに戻りたい」という思いだろうと感じました。断水が続き、避難所にいる方が多い中、復旧、復興の道は始まったばかりです。つらくて悲しくてしんどいけれど「いま、ここ」からの歩みに寄り添わせてもらえればと思います。

配膳中の住職（左）

焼けた輪島の朝市

ヒビや隆起、落石も

大人気の豚丼

徳泉寺報（とくせんじほう）

No.７５

発行
令和６年１月
発行元 徳 泉 寺
仙台市宮城野区
榴岡 3-10-3
(022)297-4248
tokusenji.sendai@gmail.com

ホームページ
tokusenji-sendai.com

Instagram
tokusenji.sendai
TOKUSENJI.SENDAI